

平成 21 年第 2 回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

## 1 定額給付金及び子育て応援特別手当支給事業について

初めに、定額給付金及び子育て応援特別手当支給事業についてであります。2月12日に定額給付金対策室を設置以降、市民皆様への広報をはじめ民生委員児童委員、養護施設等への事前説明、電話での問い合わせ対応など、早期に支給できるよう事務を進めてきたところであります。

4月6日から受付を開始した定額給付金は、給付対象総世帯数2万5,852件、総額9億2,028万8,000円に對しまして、5月28日現在で、給付対象世帯の94.6%にあたる2万4,449件の受付を行い、口座振り込み及び現金給付合わせて、2万4,285件、8億8,174万4,000円の給付を終えたところであります。

また、3月23日から受付を開始した子育て応援特別手当は、口座振り込みのみの支給になりますが、支給対象総世帯数837件、総額3,121万2,000円に對しまして、5月28日現在で、支給対象世帯の97.3%にあたる814件の受付を行い、807件、3,013万2,000円の支給を終えたところであります。

なお定額給付金につきましては10月6日、子育て応援特別手当につきましては9月24日が申請期限となっておりますので、今後も広報紙等を活用しながら市民の皆様への周知に努めてまいりたいと考えております。

## 2 輪厚スマートインターチェンジについて

次に、輪厚スマートインターチェンジについてであります。北海道初の自動料金收受システム、いわゆるETC専用インターチェンジとして、北広島市、北海道開発局及び東日本高速道路株式会社において、本格導入による開通を目指して準備を進めてまいりましたが、このたびすべての工事が完了することから6月29日に開通式を行い、供用開始する予定であります。

このインターチェンジにつきましては、午前6時から午後10時までの間が利用時間となり、

E T C装着車で車長 12 メートル以下の全車種が利用できます。

輪厚スマートインターチェンジの開通により、札幌市中心部や新千歳空港への時間が短縮され、高速道路へのアクセスの利便性が向上するほか、周辺地域の活性化や北広島インターチェンジの周辺道路の渋滞緩和に貢献するものと期待しているところであります。

今後、輪厚スマートインターチェンジや高速道路の利用促進に取り組んでまいります。

### 3 虹ヶ丘会館について

次に、虹ヶ丘会館についてであります。昨年の9月から、虹ヶ丘地区におきまして住民集会所の建設を進めておりましたが、本年3月に竣工し、4月から供用開始となりました。

施設としましては、木造平屋建 169.29 平方メートルで、バリアフリー対応型の集会室、活動室、会議室、多目的トイレなどを備えております。

今後、地域住民の交流・活動の場として活発に利用され、地域コミュニティの一層の充実、活性化が図られていくものと期待しているところであります。

### 4 埋設農薬の無害化処理について

次に、埋設農薬の無害化処理についてであります。農薬メーカー6社で構成される北海道農薬安全処理組合が、広島第2工業団地内にある北海三共株式会社敷地内に埋設保管されている有機塩素系農薬の無害化処理を行うため、北海道の承認を受け、本年5月から埋設ピット周辺等の環境調査を行ったのち埋設農薬を掘り出し、道外で高温焼却により最終処理し、今年度内に事業完了する予定とのことであります。

作業にあたっては、安全面に万全を期するよう申し入れをしたところであります。

## 5 新型インフルエンザ対策の取り組みについて

次に、新型インフルエンザ対策の取り組みについてであります。国内で初の新型インフルエンザの感染者が神戸市で確認されて以降、全国的な広がりを見せており、患者数も 350 名を超える状況となっていることから、国においては「新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、第 2 段階の国内発生期へと移行し、感染拡大防止対策を実施しているところであります。

北海道では、各保健所に「発熱相談センター」を開設し、窓口相談業務にあたっておりますが、国内感染者が確認されたことで国と同様に、「北海道新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、発熱外来が道内 43 カ所の医療機関で開設されております。

また、5 月 13 日に千歳保健所において、千歳市、恵庭市、北広島市の医師会等で組織する「千歳保健所管内新型インフルエンザ対策医療専門家会議」及び 3 市の関係行政機関で組織する「千歳保健所管内新型インフルエンザ対策連絡会議」が開催され、発熱外来等に対する新型インフルエンザ医療体制や疑似症患者の移送方法などについての打ち合わせが行われたところであります。

本市の取り組みといたしましては、4 月 28 日に緊急部長会議を開催し、国及び道の対応について情報の共有を図るとともに、市民の皆様には、市のホームページに新型インフルエンザ情報を掲載し、周知を行ってきたところであります。

国内での発生や国・道の対応が第 2 段階に移行したことから、本市におきましても 5 月 18 日に「北広島市新型インフルエンザ対策本部」を設置し、予防に関するチラシの全戸配布のほか、公共施設利用者に対する感染予防対策として、各施設への消毒液配置や緊急業務従事者用の感染防護衣等の備蓄対策等を行っているところであります。

今後も、千歳保健所、北広島市医師会など関係機関との連携を密にし、新型インフルエンザに関する情報の収集に努めながら、必要に応じた確かな対応を図ってまいります。

なお、本定例会において、新型インフルエンザ対策に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

## 6 特定健康診査受診券の送付について

次に、特定健康診査受診券の送付についてであります。昨年度から実施しております国民健康保険事業特定健康診査につきましては、今年度の対象者 1 万 340 人の方に、5 月 20 日受診券を送付したところでありますが、このうち 1,075 人の方の自己負担額の記載に誤りがございました。

特定健康診査の受診に支障をきたさないよう、5 月 29 日日本日、新たな受診券を再送付するとともに、医療機関のご協力をいただきながら対応を図ってまいります。

加入者及び医療機関の皆様にご迷惑をおかけし、深くお詫びを申し上げます。

今後、再発防止に向け職員の指導を徹底するとともに、管理体制及び事務処理の改善に努めてまいります。

以上申し上げ、行政報告といたします。